

小国高校 ジャーナル

2009.7

www.ygt-oguni-h.ed.jp

地域文化学 各班の進捗状況2

1班 山形大学工学部 田中 敦 先生

田中先生よりご指導いただき、「自然や地域社会の構造を分析しよう」を大テーマとし、特に地域社会における人と人のつながりや、情報の広まり方などに注目し、情報処理の手法を用いながら研究を進めていく予定です。

今後、地域の皆さんにアンケートなど協力をいただくことがあると思いますので、よろしくお願いします。

2班 山形短期大学 大川 健嗣 先生

6班は5月15日に大川先生に指導していただきました。生徒からは、小国町の人口や世帯数の変化・就業構造・町が抱える問題と対策・地域活性化のための取り組みなどについて調べたいという意見が出され、今後はそれをもとに調査を進めていく予定です。他の市町村との比較などしながら、小国町固有の魅力やそれを生かした地域づくりについて考えが深められればよいと考えています。



地元郷土料理研究家の 今 善一さん のご指導を受けながら
小国町の郷土料理に挑戦する2班

食育講話（6月19日）



二宮久美子先生

食に関する認識を深め、適切な意思決定や行動選択ができる力と習慣を身につけさせることを目的とした、食育講話が1年生を対象に行われました。講師に二宮久美子氏（山形県栄養士会管理栄養士・三友堂病院栄養管理室）をお迎えし、「いのちの栄養・いやしの食事・食事は文化」食事とは、心と体を育てる大切な行為である事をアンケートの集計等を元に分かりやすく教えていただきました。

お礼の言葉を述べる
平田 美咲(1-1)

生徒の感想から

自給率の話聞いて考えさせられました。日本は自分の口に入るほとんどのものを輸入に頼っています。私たちの生活もあまり例外ではありません。なるべく自分の国、自分の県で生産されたものを消費したいと思いました。特に自分の住んでいる地域で採れたものだと思った人が見えてとても安心です。それから、残飯の話も心に残っています。先生の病院で、ほんの少しの気持ちの切り替えで残飯は減ったとおっしゃっていたので、私も「もったいない」の気持ちを大切にこれから生活していきたいと感じました。

救急法講習会（6月22日）

6月22日（月）5・6校時に1学年を対象に救急法講習会を実施しました。今回は日常生活において、突然のけがに適切な応急処置を行うことができるように、また危機管理意識の高揚を図ることを目的として、新しくなったばかりの小国町消防署に出向き、実技を伴った講習に取り組みました。



Google
©2009 Google

Web検索 小国高校